和様手本大成
第二十三巻

本願寺三十六人家集 貫之集上

301
7

301-7
1200501367207

始

本願寺三十六人家集 貫之集上

261
7

帝國圖書館藏

本願寺三十六人家集

貫之集上

紀将作歌集巻第一

延喜五年二月廿一日尚侍之被
奉泉右大将賀之時屏風
依内裏仰奉之

なつ山のかけをしけみやたまほこの
みちゆく人もたちとまるらむ

雪の[illegible]

[illegible]

山[illegible]

延喜六年和哥月令御屏風

料[illegible]首 勅有[illegible] 奉

ゆきてみぬ人もしのへとはるのゝ

かたみにつめるわかななりけり

二月 [illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆ[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月 [illegible]

[illegible]

[illegible]

わすれしなね
うらしまかいさ波のよる和歌のうら
はわするな人をしのふる声に
三月尽
花ちれはちりぬるやとも遊ふ春の
名残はこゝろ残しなからつきせね
五月とも(し)
さ月やまこのやみたともし火を
さしのたちよれともなかれゆくなり
たえぬ

夏にきてかはのさゝなみことにこゝろし
秋さゆくもみちたちなる
六月祓
うつ火かりそめにしもうれなる
ぬるは夏にまよは水をしらぬ
なれそる
宮れをまめてし倚りて見る
あなかなるてわれ南
あされ末のはいまはあらし
つくりうゝれもかこにまそし

八月駒迎

逢坂のせきのし水にかけみえて
いまやひくらんもちつきのこま

小鷹狩二首

あきのゝにかりそくれぬるをみなへし
こよひはかりのやとはかさなむ

あきのたの[illegible]

[illegible]

[illegible]

風さむみわかゝらころもうつときそ
はきのしたはもいろまさりける

志賀山越

ひとしれすこゆとおもふらしあしひきの
やましたみつにかけはみえつゝ

十二月神楽

おくしもにいろもかはらぬさかきはの
かをやは人のとめてきつらん

[illegible]

まつ[illegible]のくもは[illegible]しや[illegible]
みえ[illegible]らん

十一月臨時祭

みや人のすれるころもにゆふたすき
かけて心をたれによすらん

十二月仏名

としのうちにつもれるつみはかきくらし
ふりつもる雪[illegible]きえなむ

延喜十三年十月十四日尚侍四十賀

屏風哥依内裏仰奉之

あをやきのいと[illegible]
[illegible]

人家に[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

祝[illegible]

[illegible]

月のかつらの
かゝこそしうつろひけれつゆまさみ
あたらしき人をこそうらみれ
紅葉のちりのこみちもせにうつわたかわ
ちりまかふ
あしひきのやまのもみちはちるなれと
もみちはちりてわかすともなかれ
みえこし人をまたしわかれて
たちしものゝにやまかはきて
ちりまかひにたこのよもせたる

わかれのそやかけともたのもしきかな
しからひたつきてしのひあへす
延喜十四年二月廿五日女一宮御
屏風の料哥
あすからはなさしはそてにほひぬ
我身ゆゑわかれそらにかすみつつ
山みれはゆきまたふる春霞
たちわたれはこそ
やまさとにはるはきにけり花

よみけるはらにいつかぞのくみ
やまのなをきてわらせてうたよ
なげくとこころをゆるなはわ
すゑしてかはをしらずあかきむ
おもひみけしわかうたの心た
こころ下にはくゑせるのひの
あまく心をあらふこころなら
つくるるまおもひをみひくしのわなれ
をたとしみさきくなをかへるのを

さくらばなみだしうすあらぬあれやちくく
にほひてさくこれをみやとろしん
すこしこのはちるあかはるてし
うつろふそれくせんあみくしこし
風の音の秋としもあきさけるのあか
隔てぬはへのなきなかれ
うへにとて我をまつれを女郎花こ
ゐるところえておもひてぬる
わすれもしてあきまちるかれし山の萩の
しかならぬかれていつ月いへ

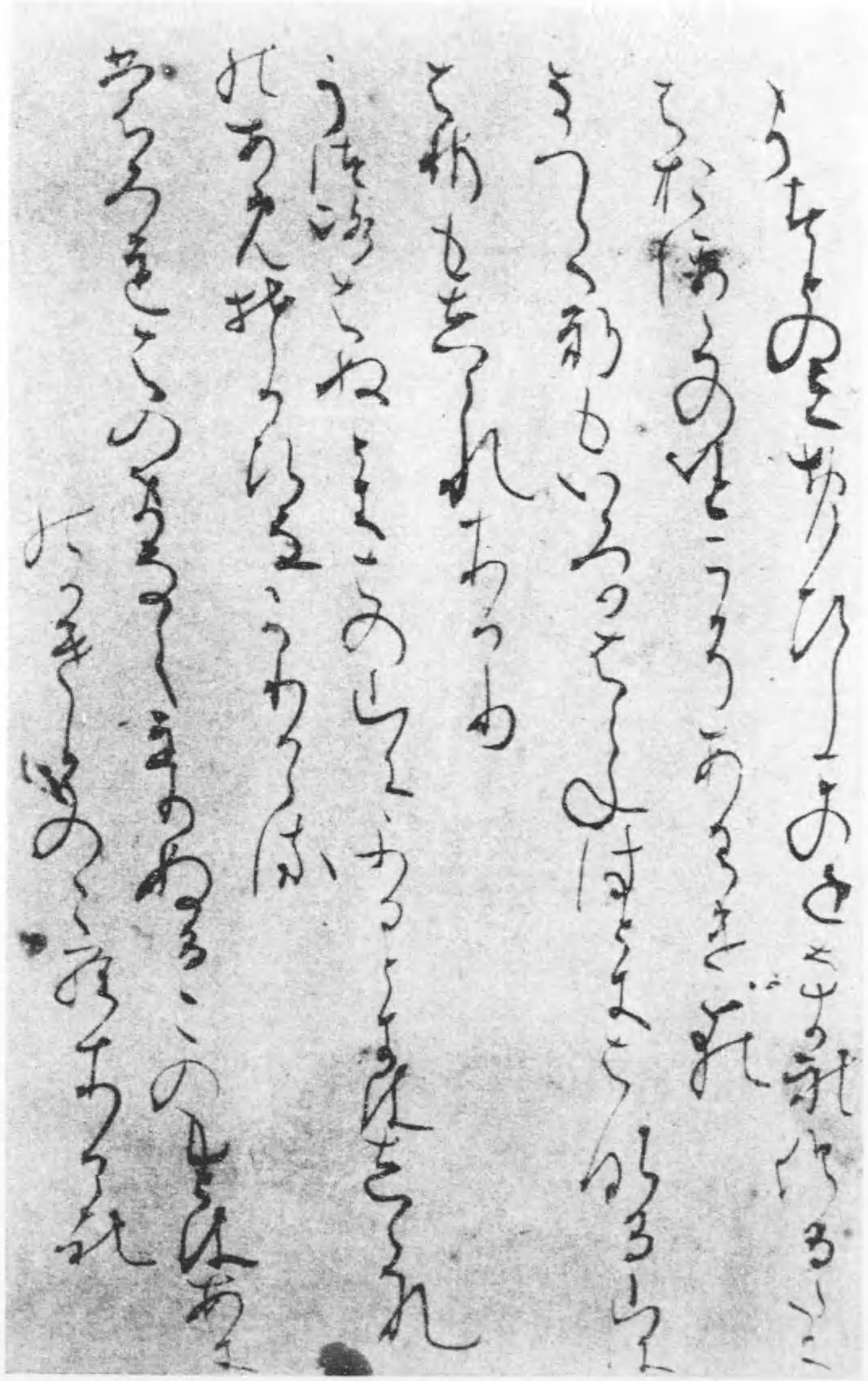
こほりのこまかはまて一わかやの
たきさへおとみえてしれつるを
おしるおちてそわかさしかるを
もしもちよのよはいのかたん
みかくれてちらぬもみちを紅葉ハ
のまかく水のまもまなかれし
延喜十五年閏二月廿五日ニ春日祭
御屏風ニ奉ル依勅奉レ
女若菜のうゑにいてゝあるは
なかれいつるをあるはてをいてゝ

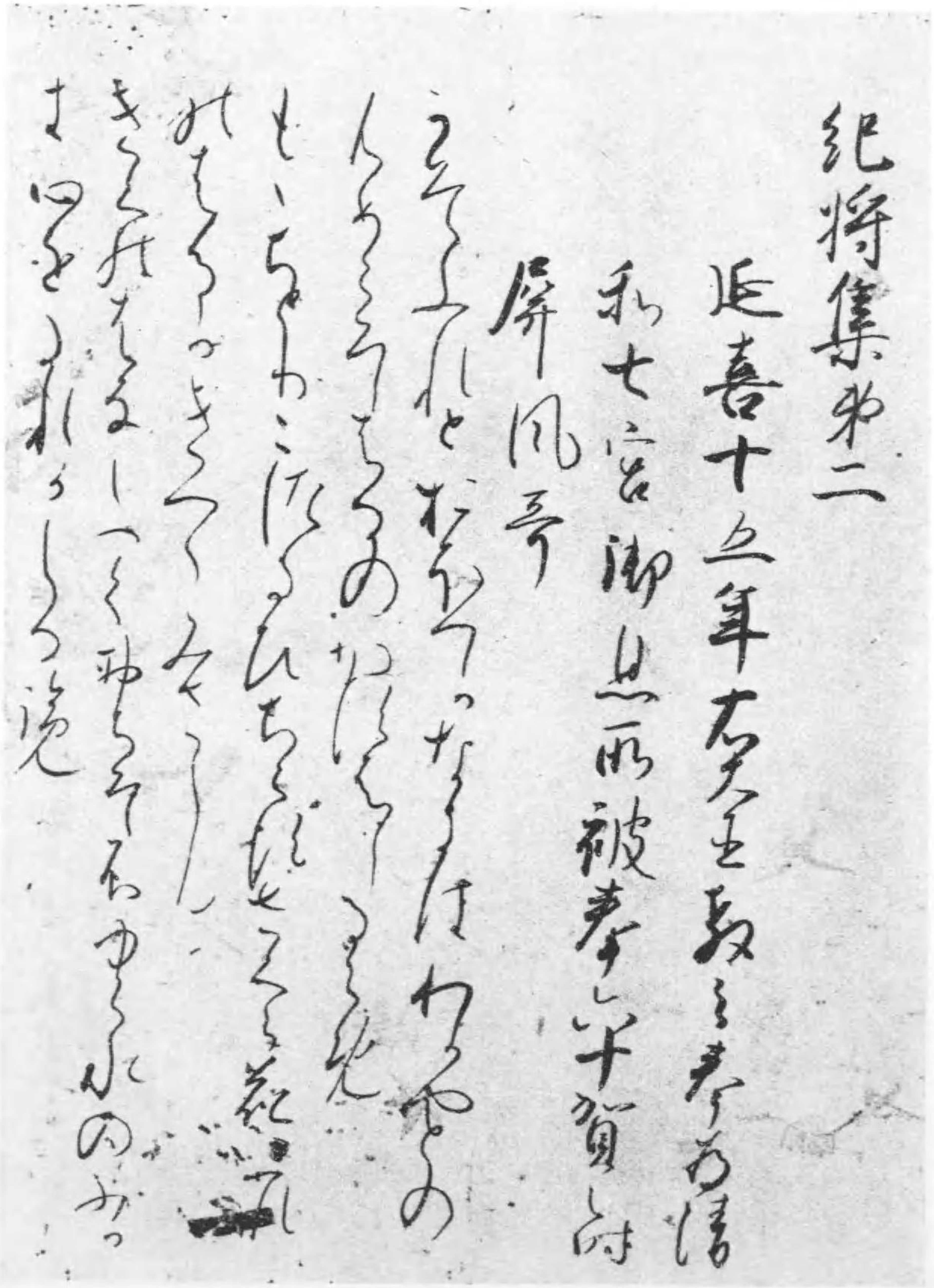
あるし　まらうと

春の野はしけれともてかはかれもれおもし
一ともなき花のわかなゝかり摘
めの春ゆきもけにかれしく
引
桜をあるてにゆけ春霞みたなれ
たちかたつらし桜花
人のまなこにやれにてかはらしもせ
くらなよりくるらん
なちのまきれ花もみちくもてになみけれ

[illegible]我名たち[illegible]
旅人の道[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]我[illegible]
人の[illegible]花[illegible]
[illegible]
女郎[illegible]
[illegible]

[illegible]かけて[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]花は[illegible]
延喜五年二月二日右大弁やそ
このかみの中納言の左大臣の
[illegible]
[illegible]五十賀の屏風のうた
[illegible]
[illegible]





紀将集第二
延喜十五年右大将殿之奉為清
和七宮御息所被奉之四十賀時
屏風哥

301
7

本願寺三十六人家集 貫之集上

昭和十年九月十三日印刷
昭和十年九月十七日發行

和樣手本大成 第卅三卷

（第十二回配本）

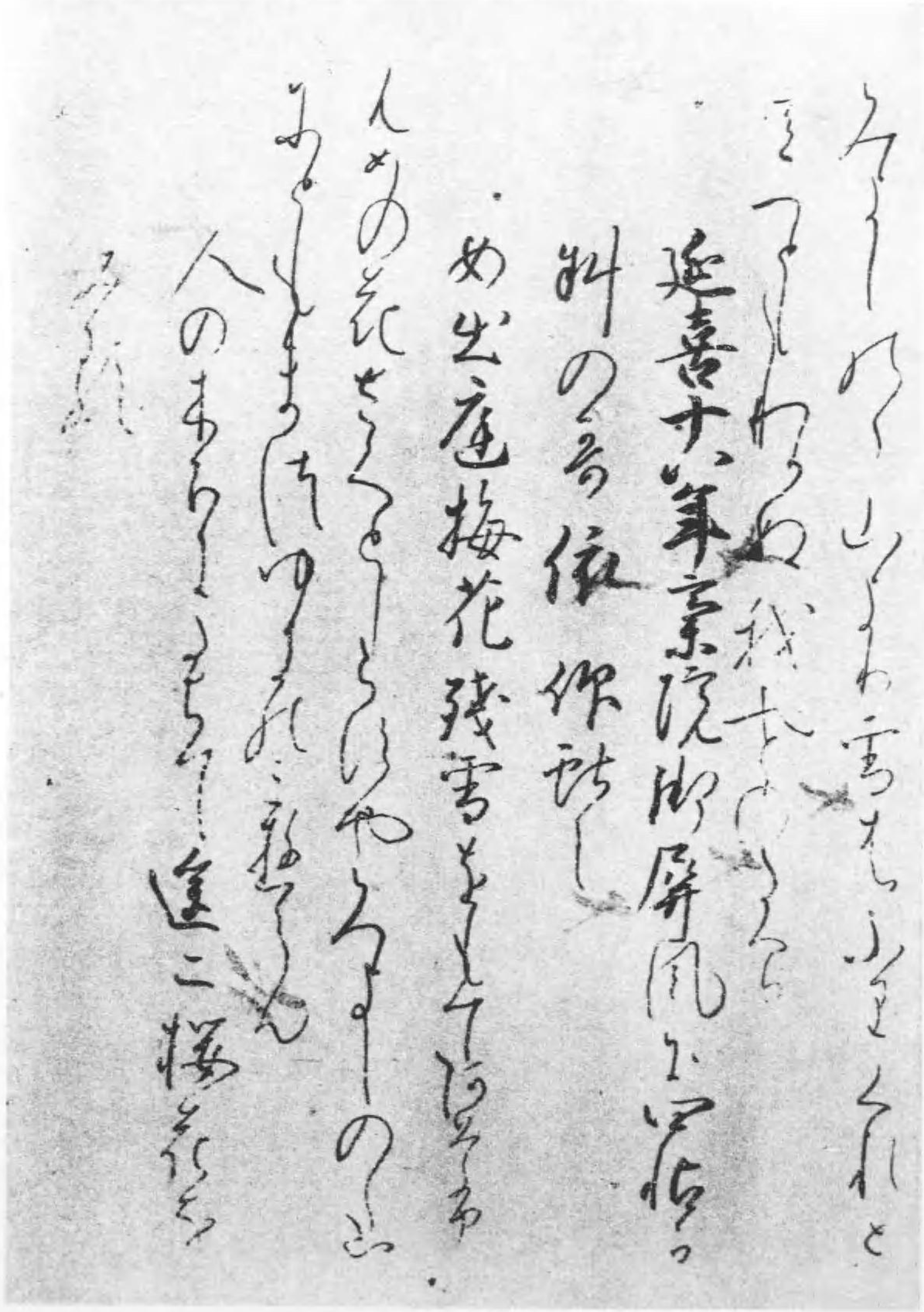
編輯兼發行者 下中彌三郎
東京日本橋呉服橋

印刷者 關口一男
東京日本橋呉服橋

發行所 平凡社
東京日本橋呉服橋

印刷所 共同印刷株式會社
東京小石川久堅町

（村田製本）



301
7

終